

令和6年度 特別養護老人ホームの
入所状況に関する調査
報告書

令和7年5月
新潟市福祉部高齢者支援課

目次

調査概要	1
(1)各居室形態の床数について	2
(2)令和7年1月1日時点の各居室形態ごとの利用床数について	3
(3)令和6年(令和6年1月～12月)と1年前(令和5年1月～12月)を比較した利用率について	4
(4)利用率が「大幅に上昇した」、「上昇した」理由について	5
(5)上昇したと考えられる「その他」の理由について	6
(6)利用率が「大幅に低下した」、「低下した」理由について	7
(7)他施設との競合が激化し、低下したと考えられる具体的な要因・その他の理由について	8
(8)新規入所の状況(令和6年1月～12月の新規入所者数)	9
(9)新規入所者の入所前の居住状況(複数回答)	10
(10)入所の申し込みがされた理由(複数回答)	11
(11)入所の申し込みがされた「その他」の理由について	12
(12)待機者の状況 (令和6年1月～12月に、待機者に入所を打診したが、入所につながらなかった件数)	13
(13)待機者に入所を打診したものの、つながらなかった理由について(複数回答)	14
(14)待機者の特別養護老人ホーム以外の入所先	15
(15)入所につながらなかった「その他」の理由について	15
(16)医療的ケアへの対応状況	16
調査票	19

調査の概要

(1) 調査対象

新潟市内に所在する介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
101 事業所（87 施設）を対象にアンケート調査を行った。

- ・配布数：101 票（広域：66 か所、地密 35 か所）
- ・回収数：98 票（広域：66 か所、地密 32 か所）
（回収率 全体：97.0% 広域：100%、地密 91.4%）

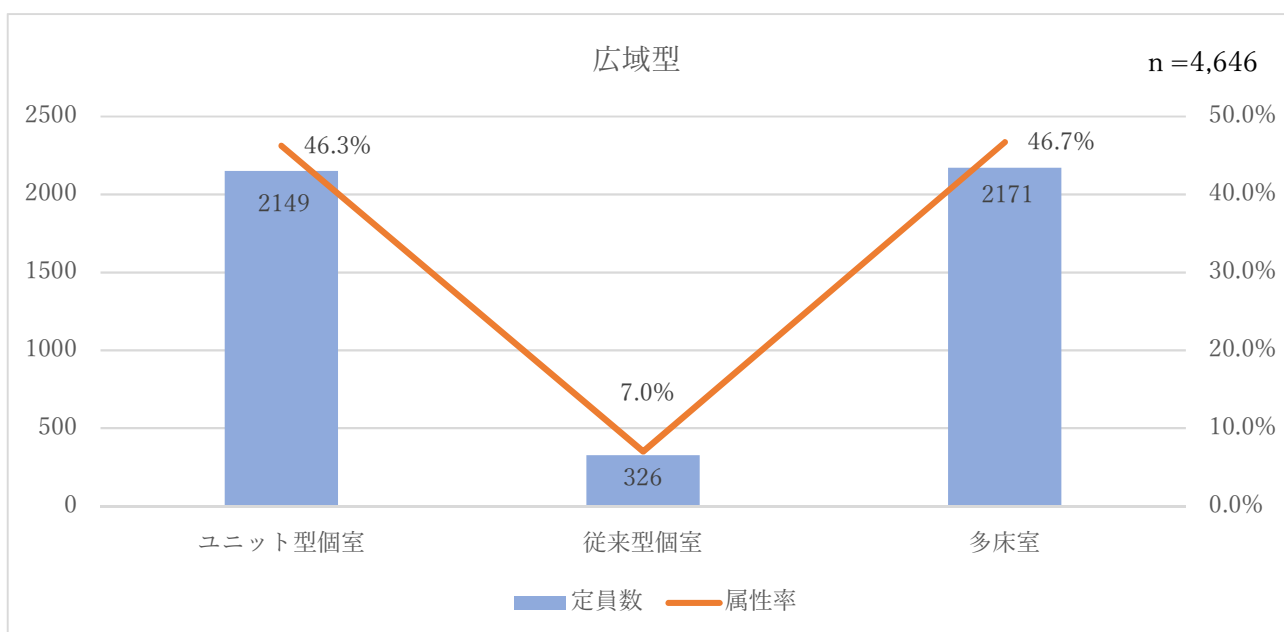
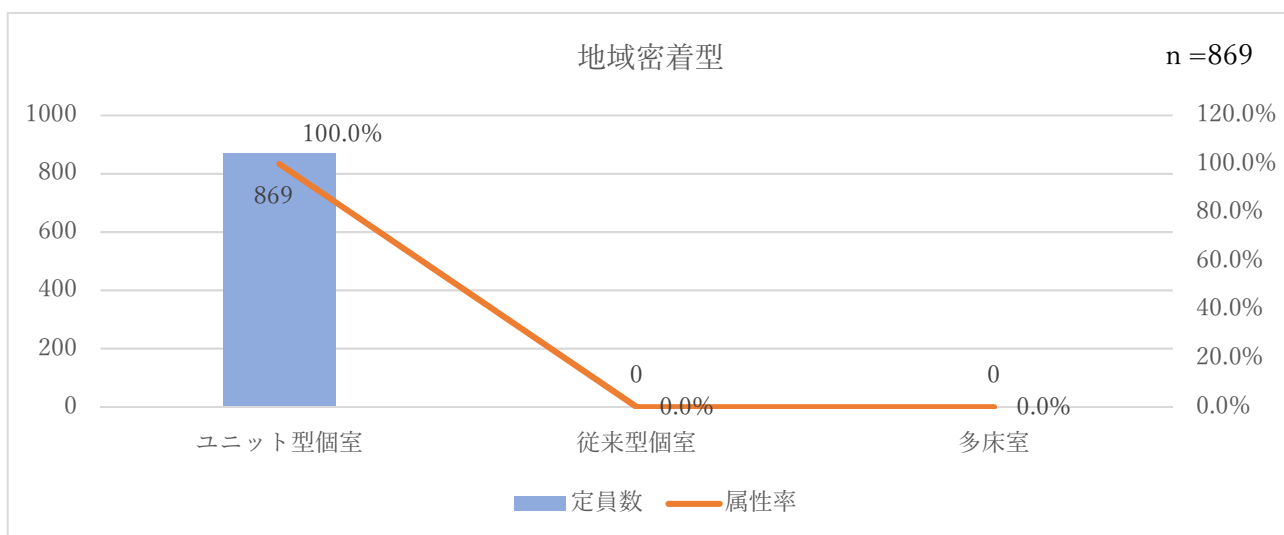
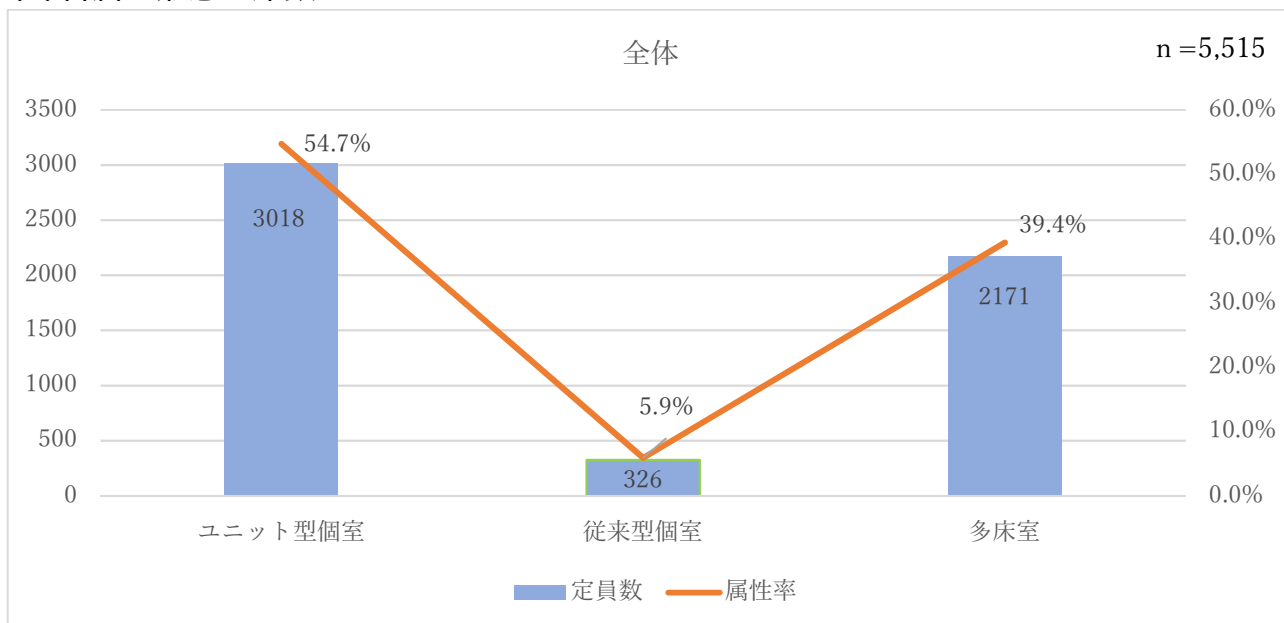
(2) 調査実施期間

令和 7 年 1 月 22 日～令和 7 年 2 月 19 日

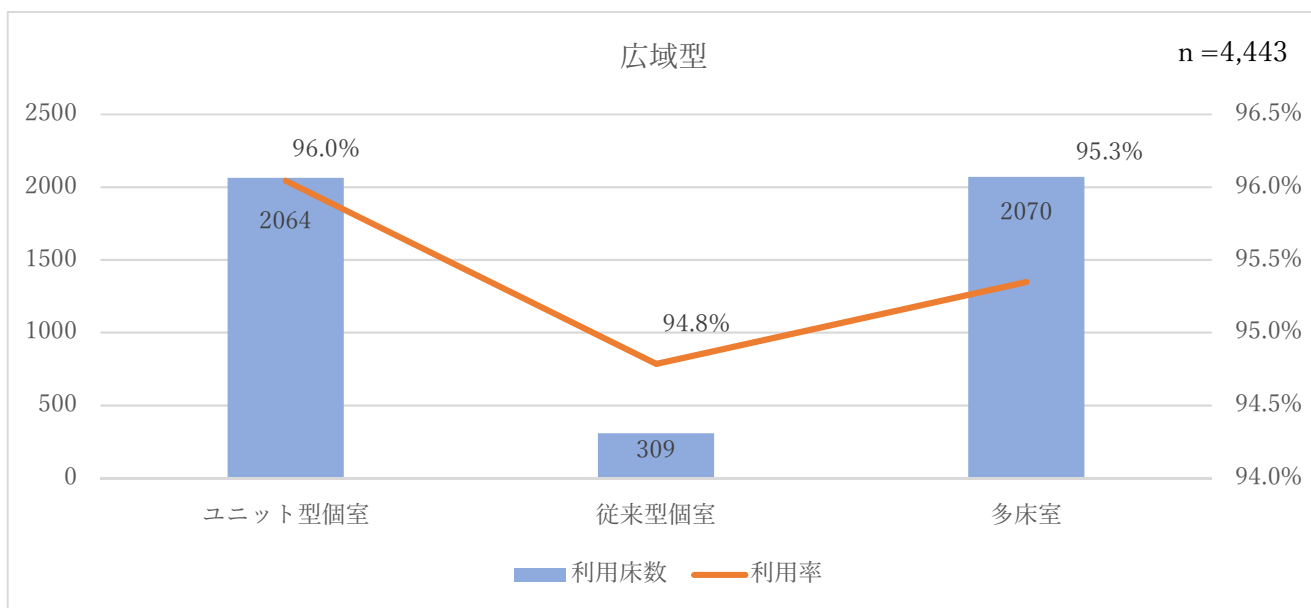
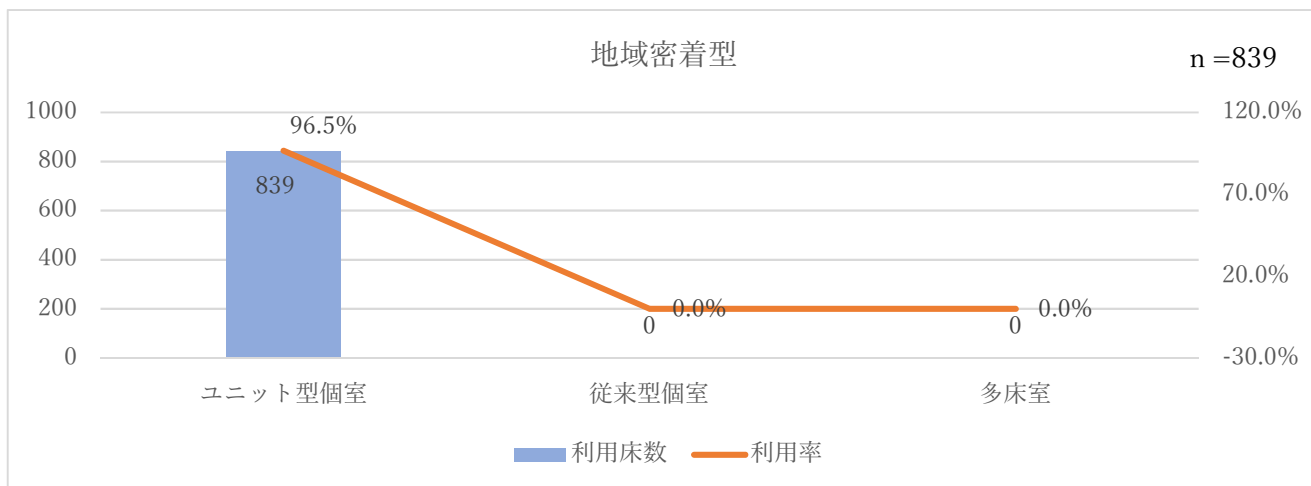
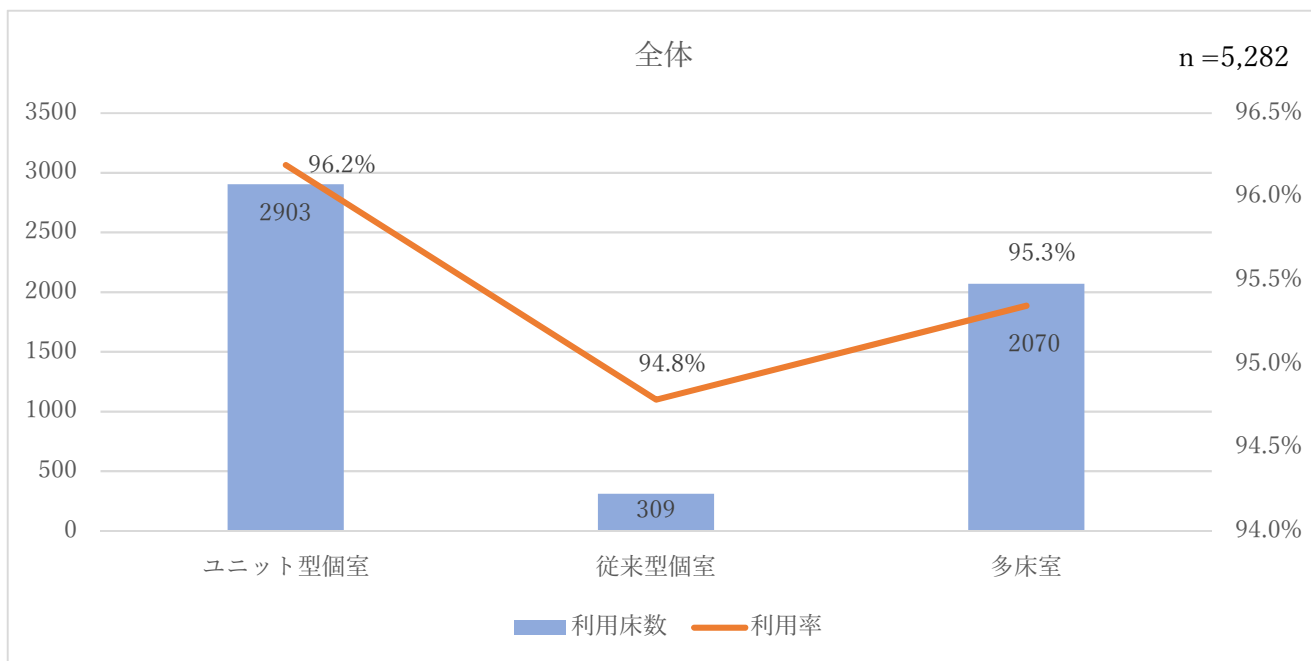
(3) 調査方法

E メールによる配布・回収

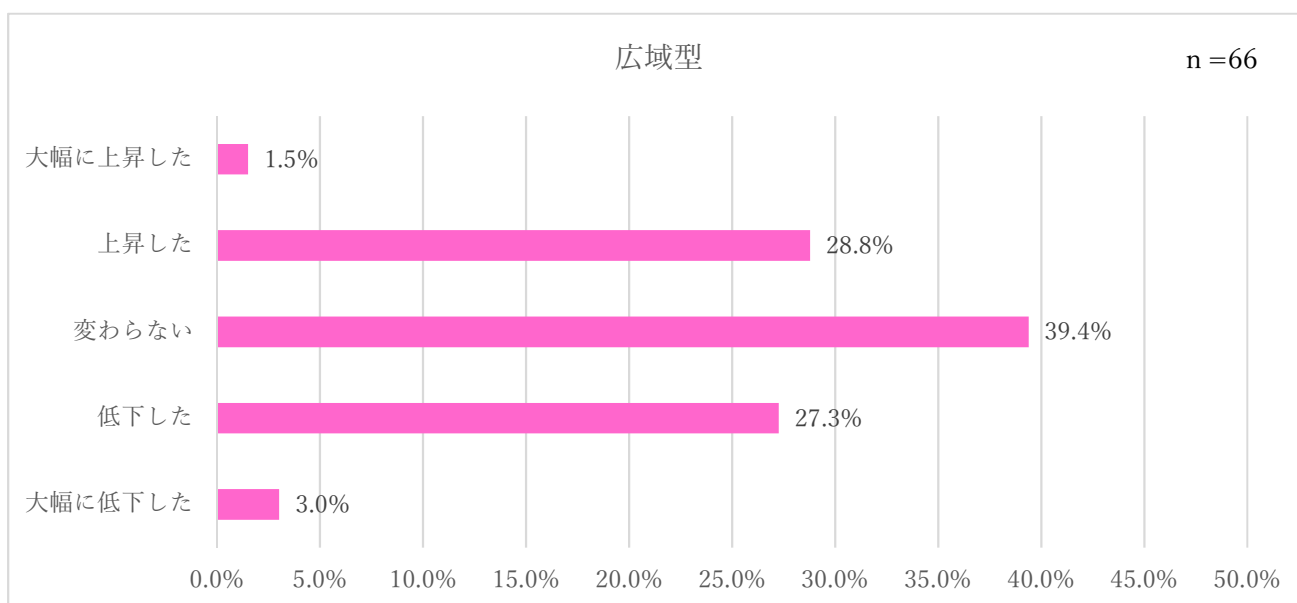
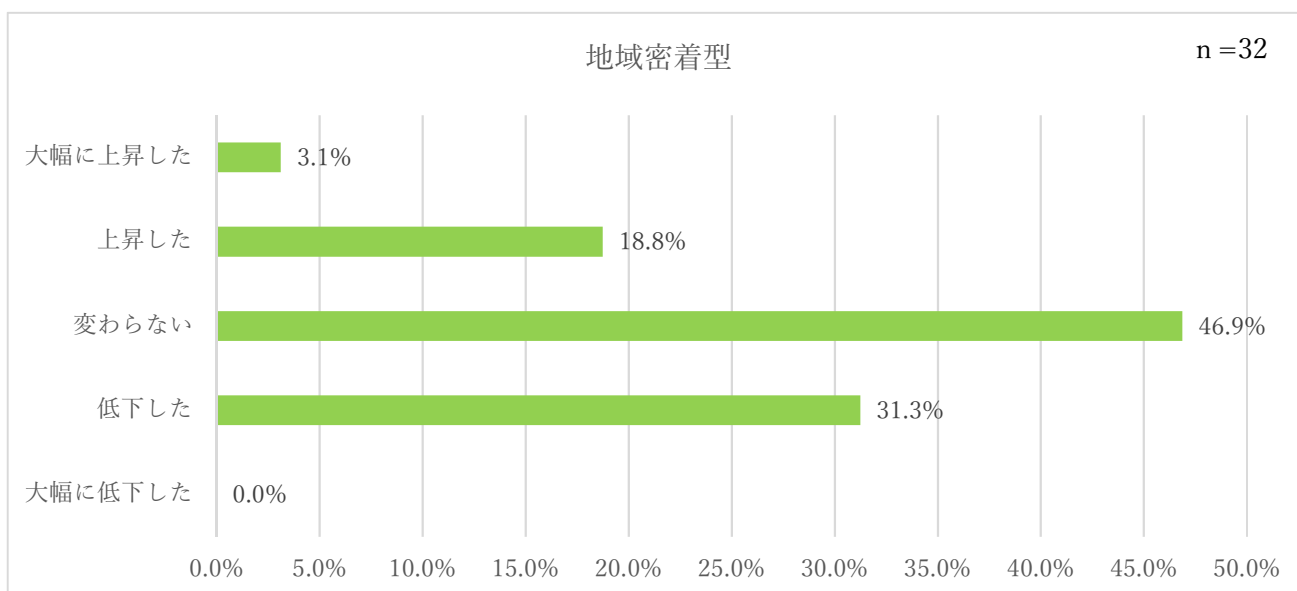
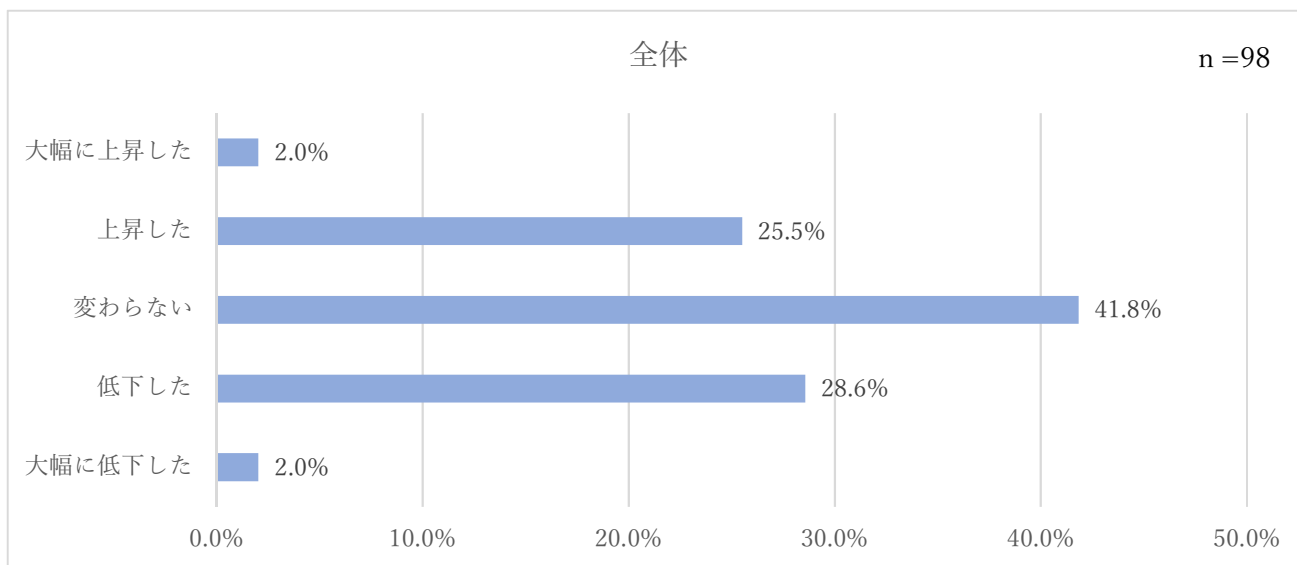
(1)各居室形態の床数について



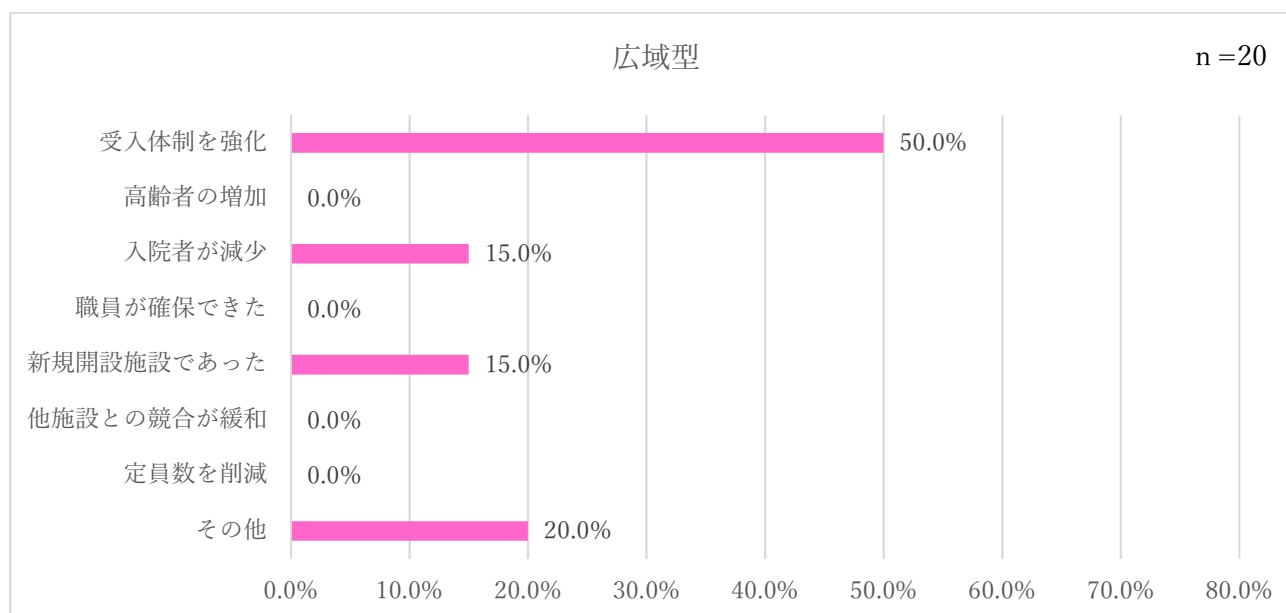
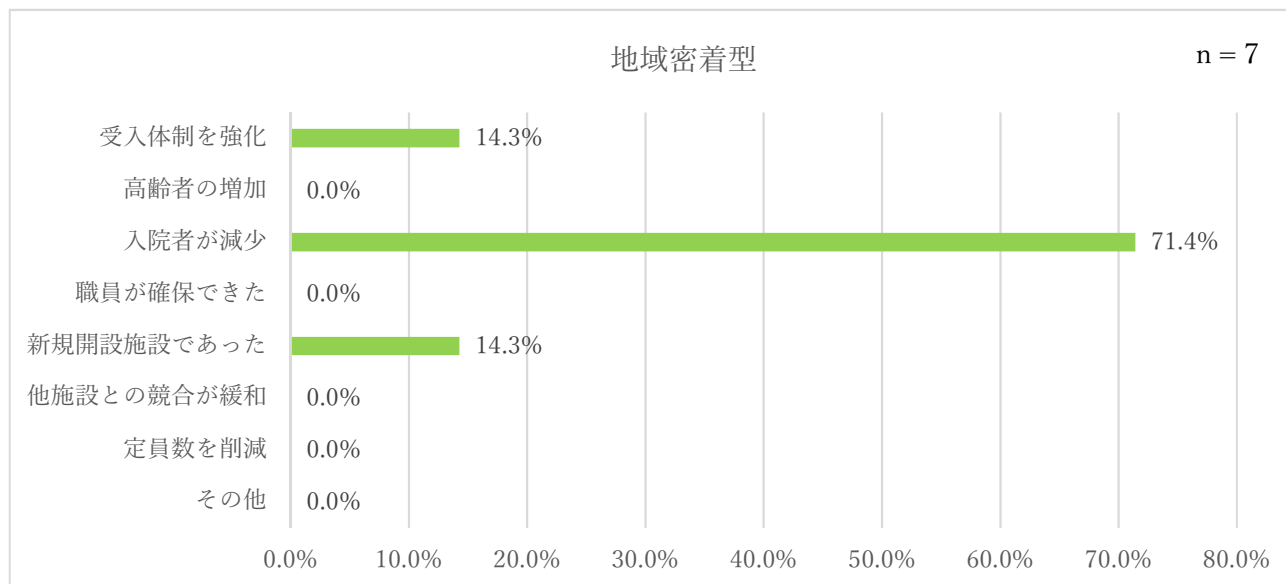
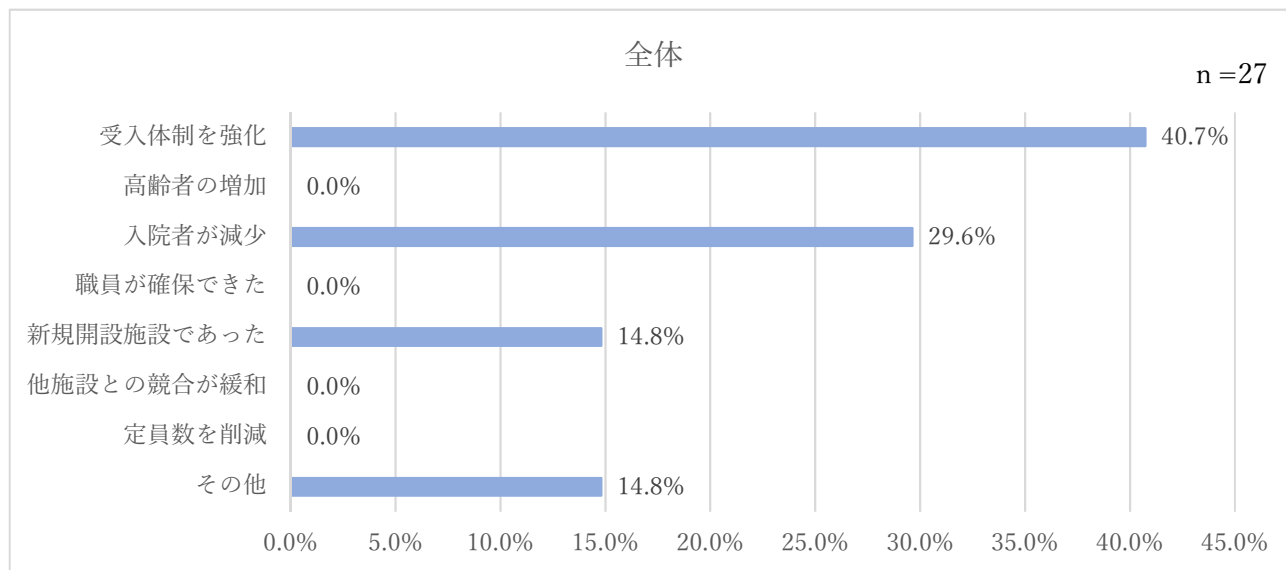
(2)令和7年1月1日時点の各居室形態ごとの利用床数について



(3)令和6年(令和6年1月～12月)と1年前(令和5年1月～12月)を比較した利用率について



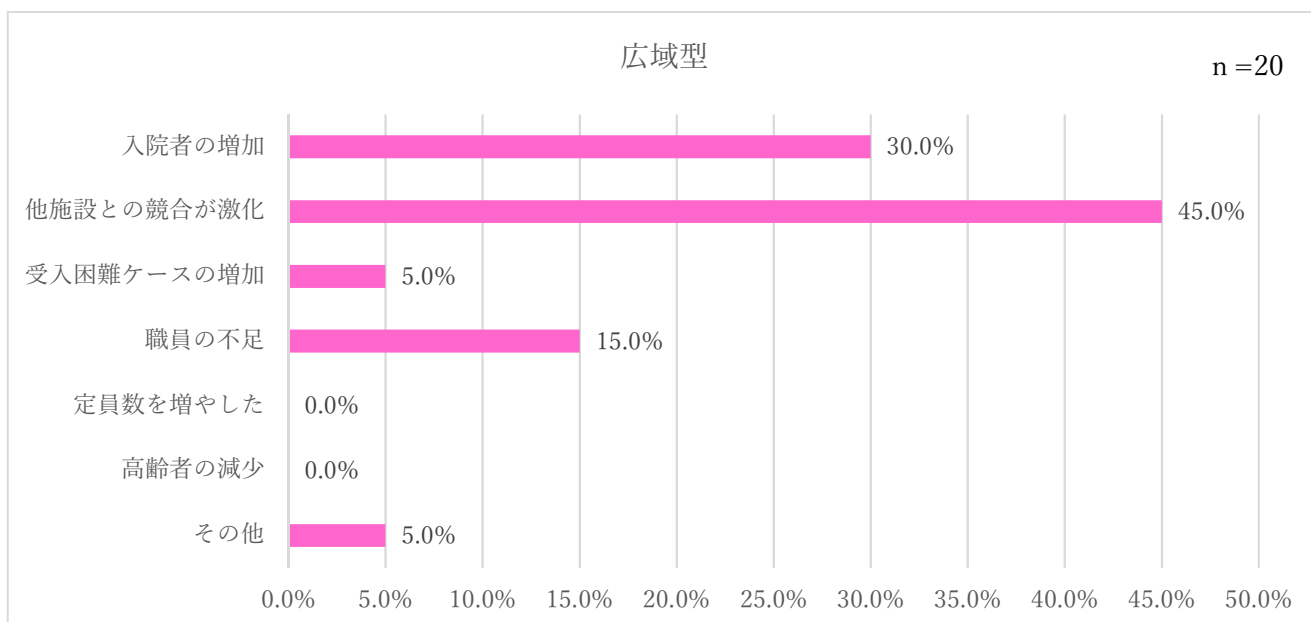
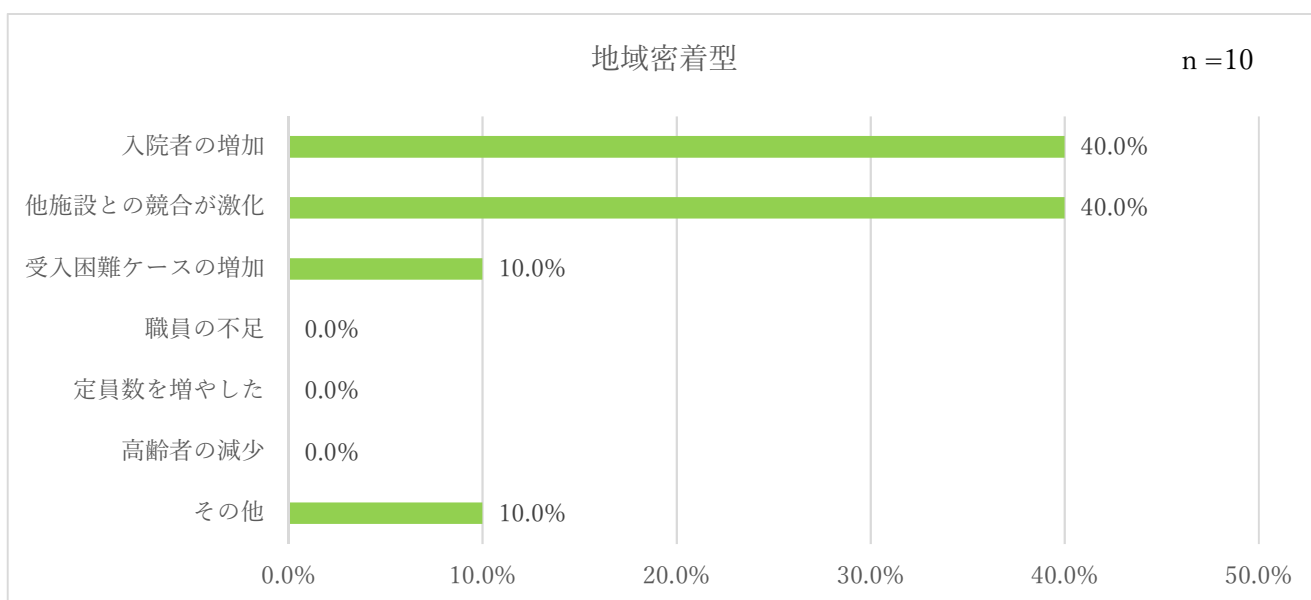
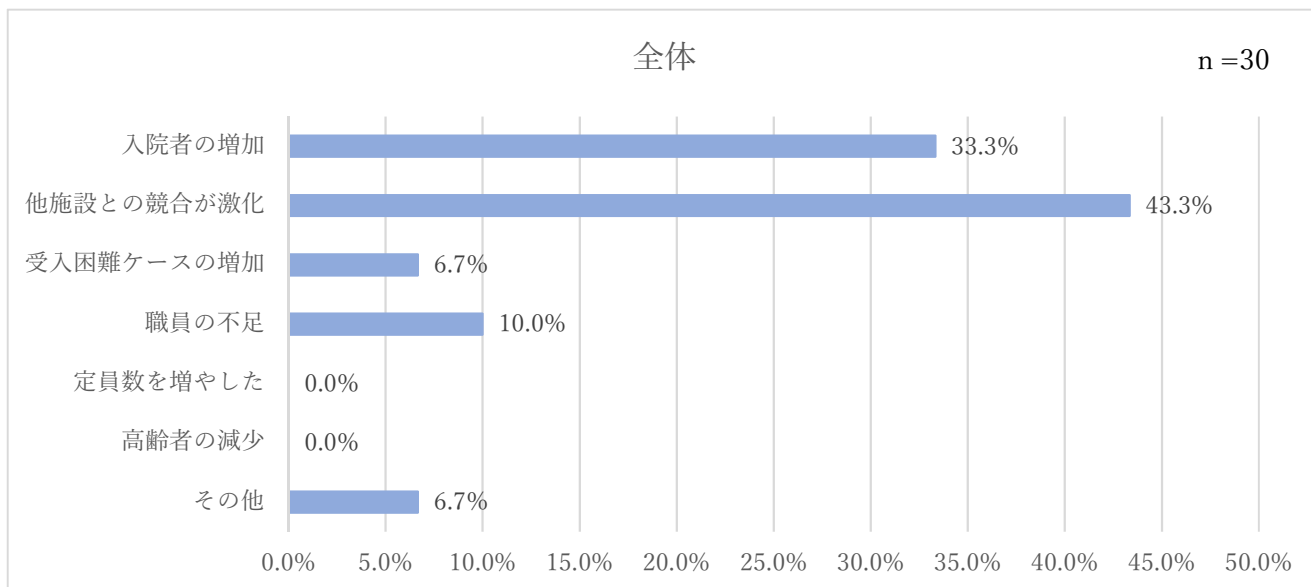
(4)利用率が「大幅に上昇した」、「上昇した」理由について



(5)上昇したと考えられる「その他」の理由について

- ・死亡による退所者が減少した
- ・令和5年より令和6年は状態低下者が少なく、退所者が1年前より減少した。
- ・令和5年度にショートから特養に転換した部分の特養入所が進んだ。
- ・令和6年度の移転に伴い、多床室からユニット型個室へと転換したことで、利用料金が上昇した。
その影響で転居を希望される方もいた一方、新規開設施設であること、全室がユニット型個室になったことにより、新たなニーズも生まれた。総合的に見ると、大きな変化はほとんど見られなかった。

(6)利用率が「大幅に低下した」、「低下した」理由について



(7)他施設との競合が激化し、低下したと考えられる具体的な要因・その他の理由について

(居室形態)

- ・料金面で多床室を希望され方が多く、ユニット型個室を希望する方が少ない。
- ・ユニット型個室の申込みがほとんどなく待機者がほぼいない。
- ・利用できるなら個室希望だが、昨今の景気事情でユニット型個室の料金の高さを嫌う方が多い。また近辺の多床室の特養に多くて流れている。
- ・ユニット型特養に入所を検討するよりも在宅サービスを利用しながら従来型特養の順番を待っているケースが多い。

(利用者の状態)

- ・病状が悪化した状態での入所が増えており、在籍日数が減少している。すぐ看取りとなる。
- ・要介護3以上の介護が必要な高齢者の減少。
- ・比較的要介護3の方が他施設入所になることが多い。
- ・介護度3入所に関しては、空いていても加算要件を満たすよう入所時期を調整している。

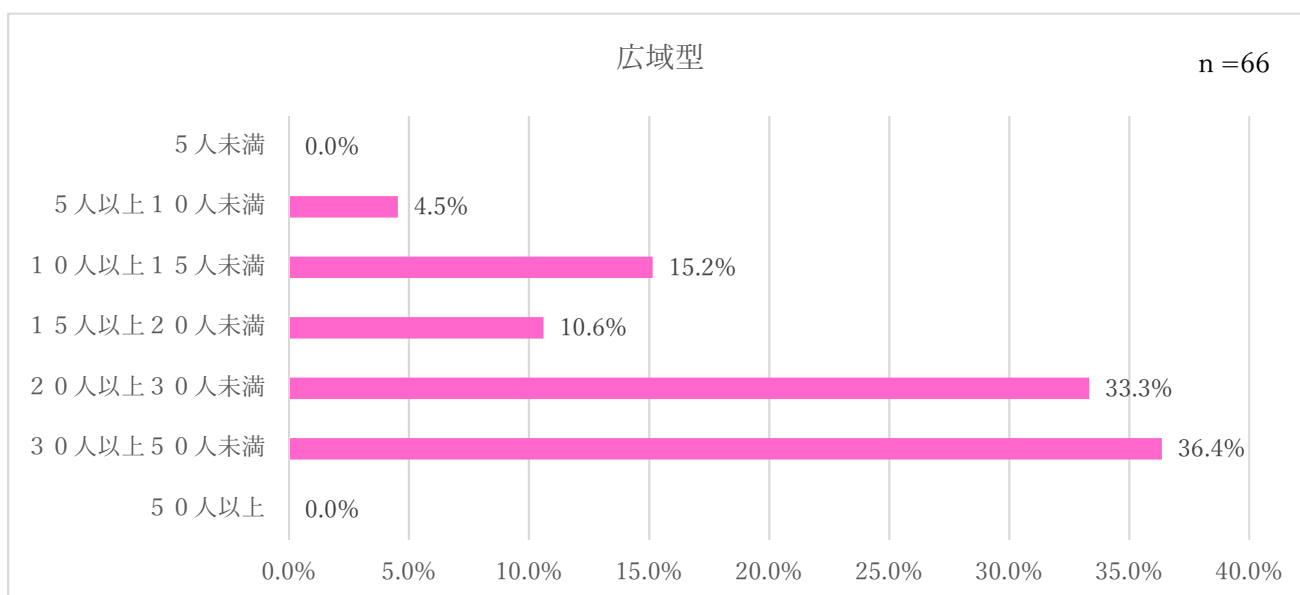
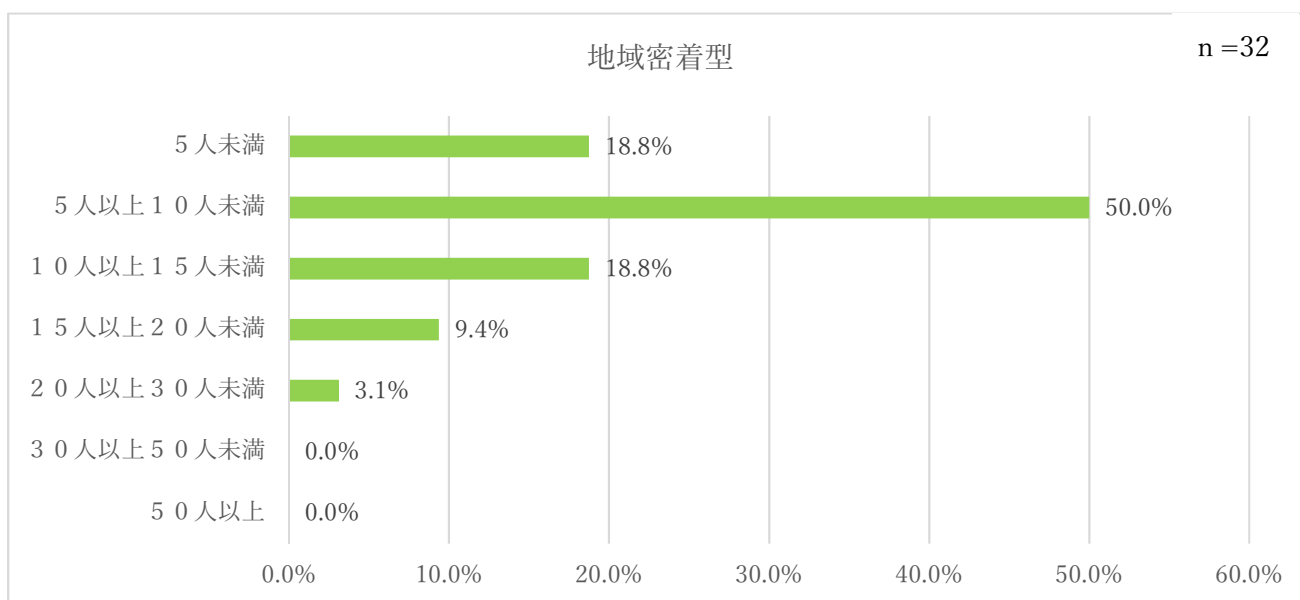
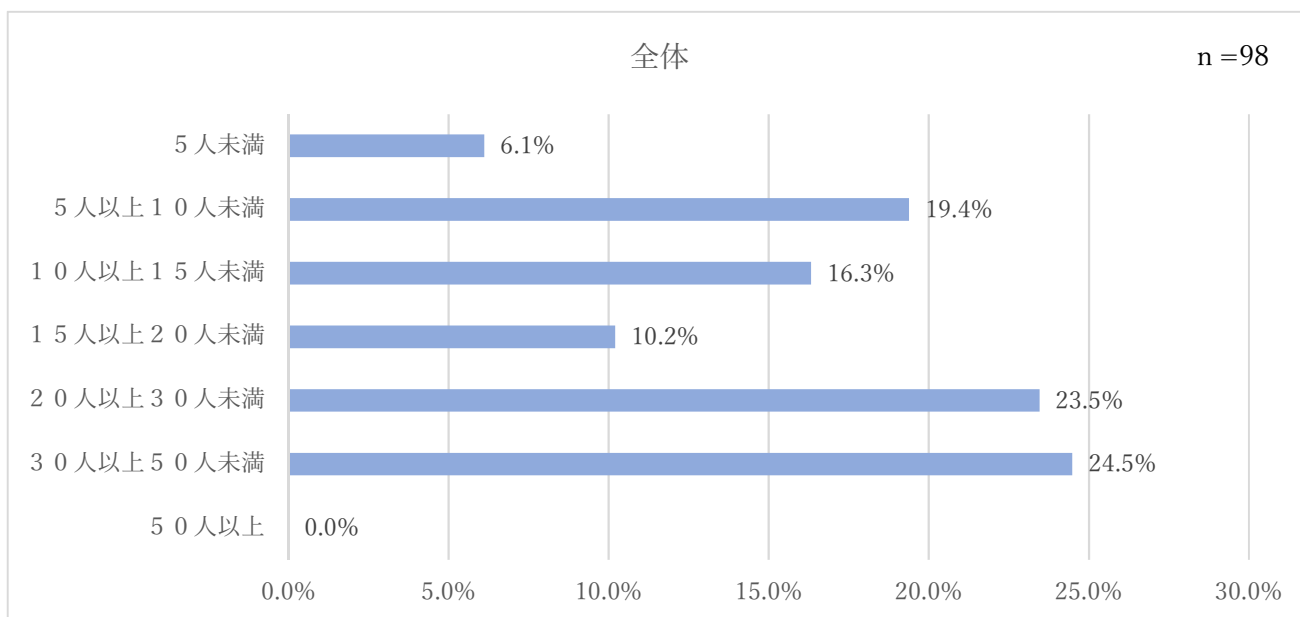
(入所申込)

- ・新規申し込みが来ると他施設とすぐに取り合いになる。(申込者が複数申込をしているため)
- ・申込者が他の特養へ入所し、申込取下げとなるケースが増加。
- ・新設特養へ入所となるショートステイご利用者が増加
- ・申込者に問い合わせしても、既に他の特養へ入所が決定している、数か月後に入所が決まったと連絡をいただく。申込を受付しても取下げが多く待機者が増えない状況にある。
- ・申込者の状態確認へ訪問し、入所検討会議を行っている間に、他施設へ入所が決まるケースが増加し、空きが埋まらない。他施設との競合が数年前と比較して激化している。

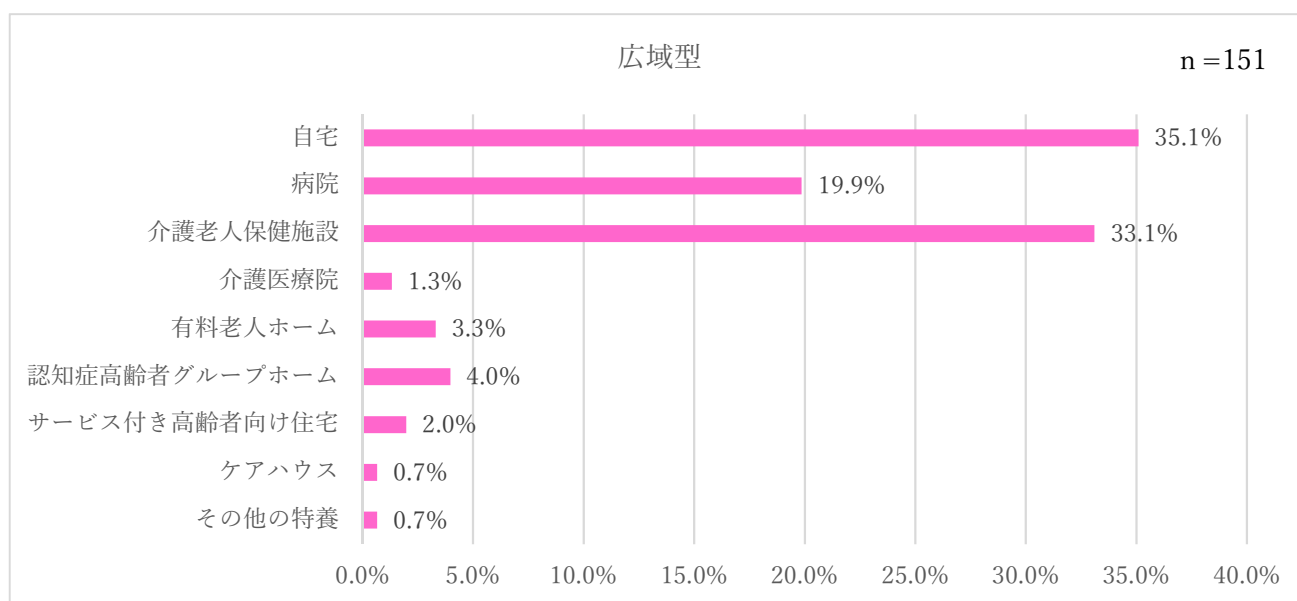
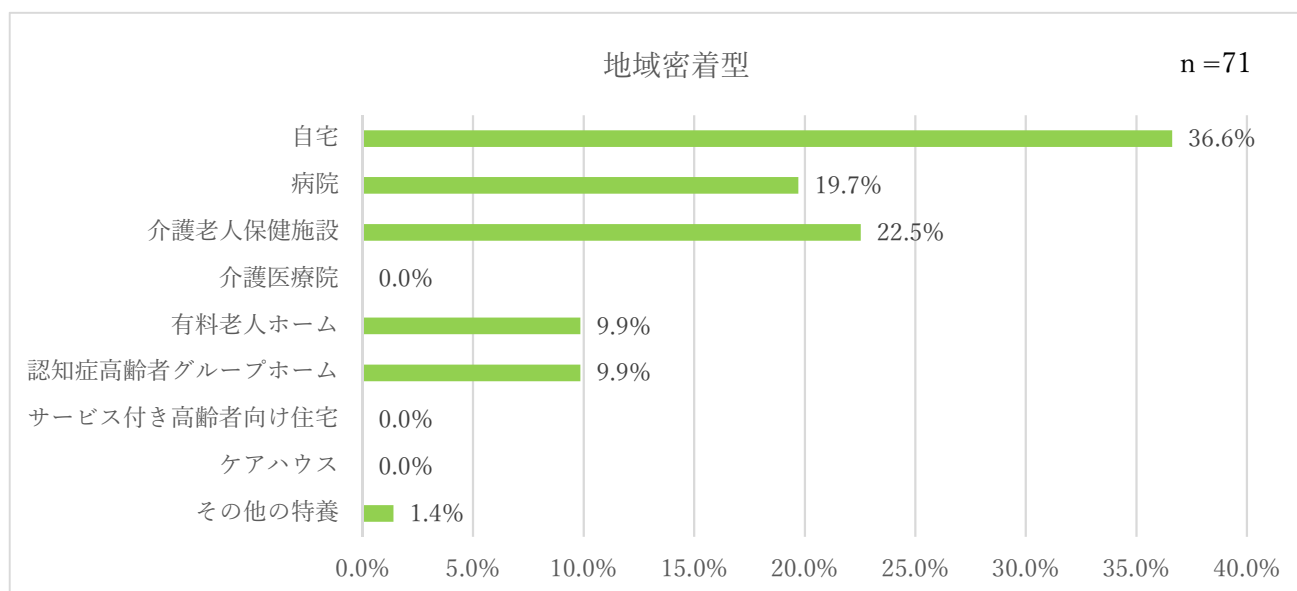
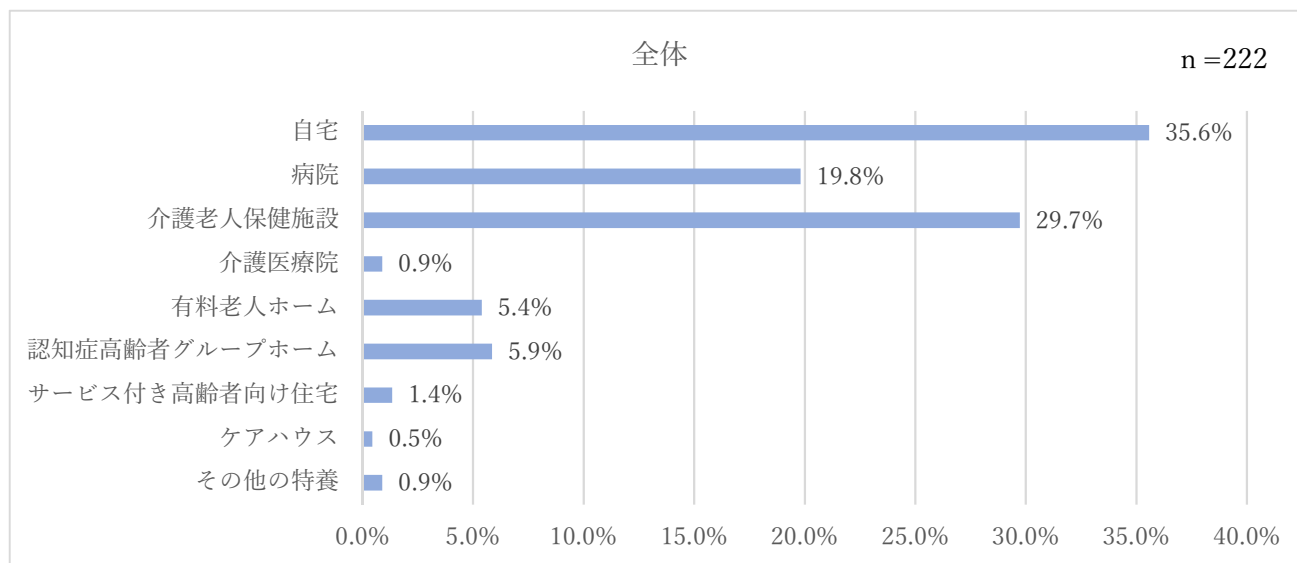
(他の施設種別)

- ・老健が実質的に特養化している。
- ・区内に有料老人ホーム等の入所系施設が開設しているため、減少している。
- ・施設所在地周辺に施設が充足している。
- ・介護保険施設や介護保険施設以外の高齢者受入れ施設が増加した。
- ・老健・GH・有料でも看取りをするようになり特養申込みを勧めなくなった。

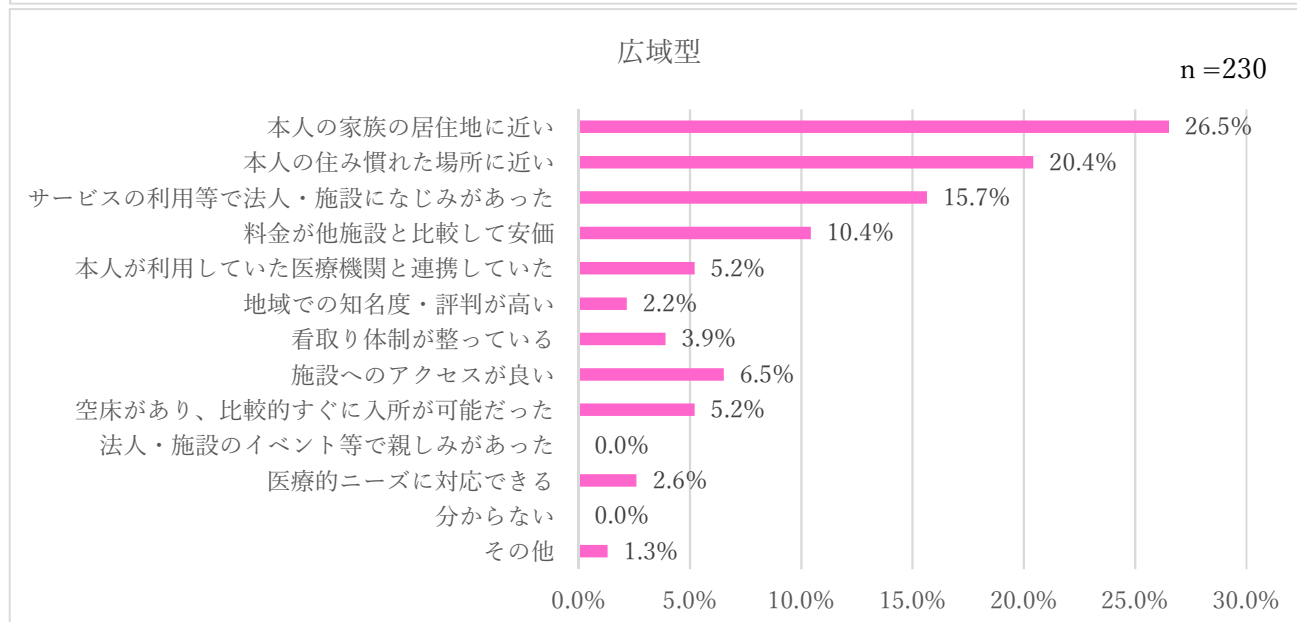
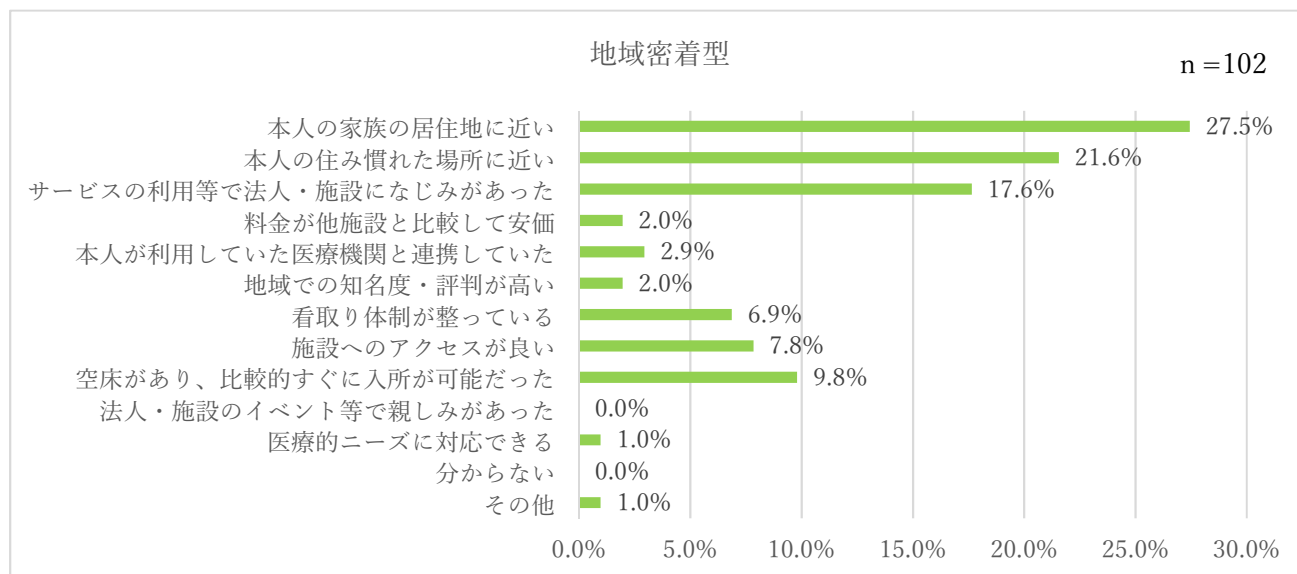
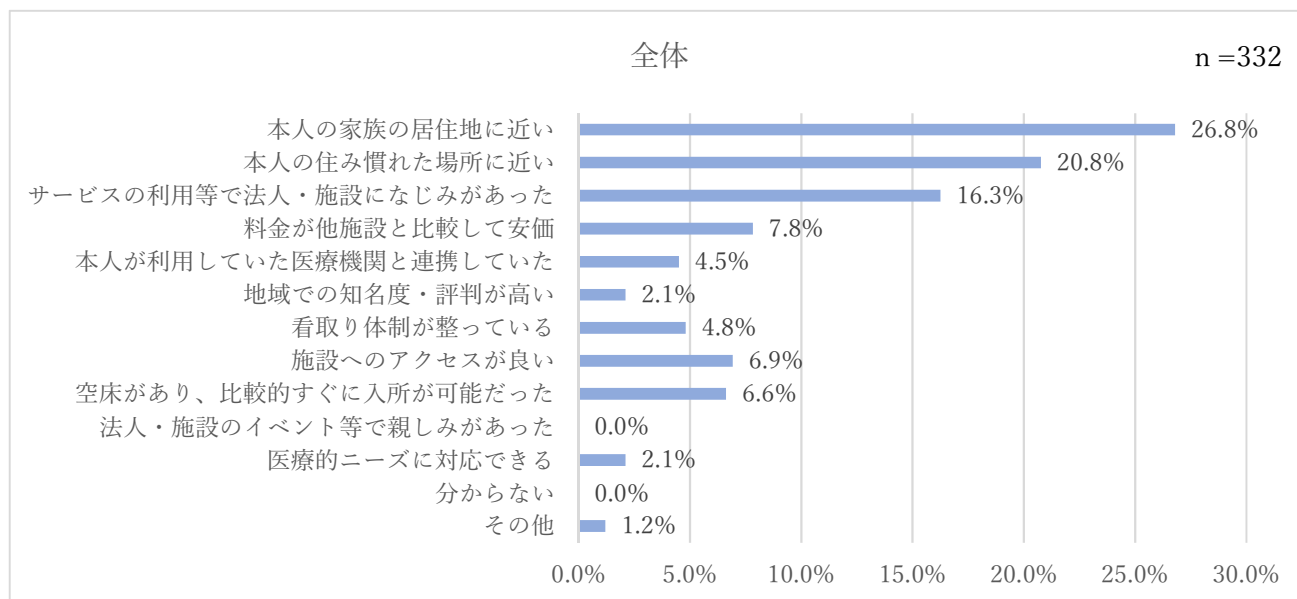
(8)新規入所の状況(令和6年1月～12月の新規入所者数)



(9)新規入所者の入所前の居住状況(複数回答)



(10)入所の申し込みがされた理由(複数回答)

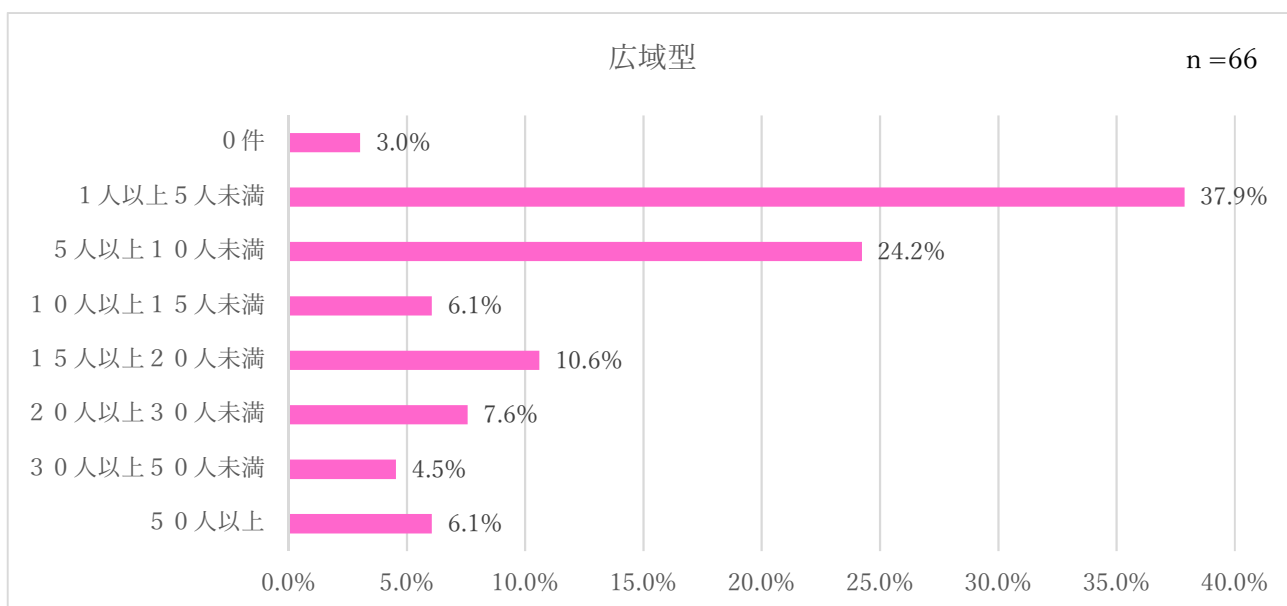
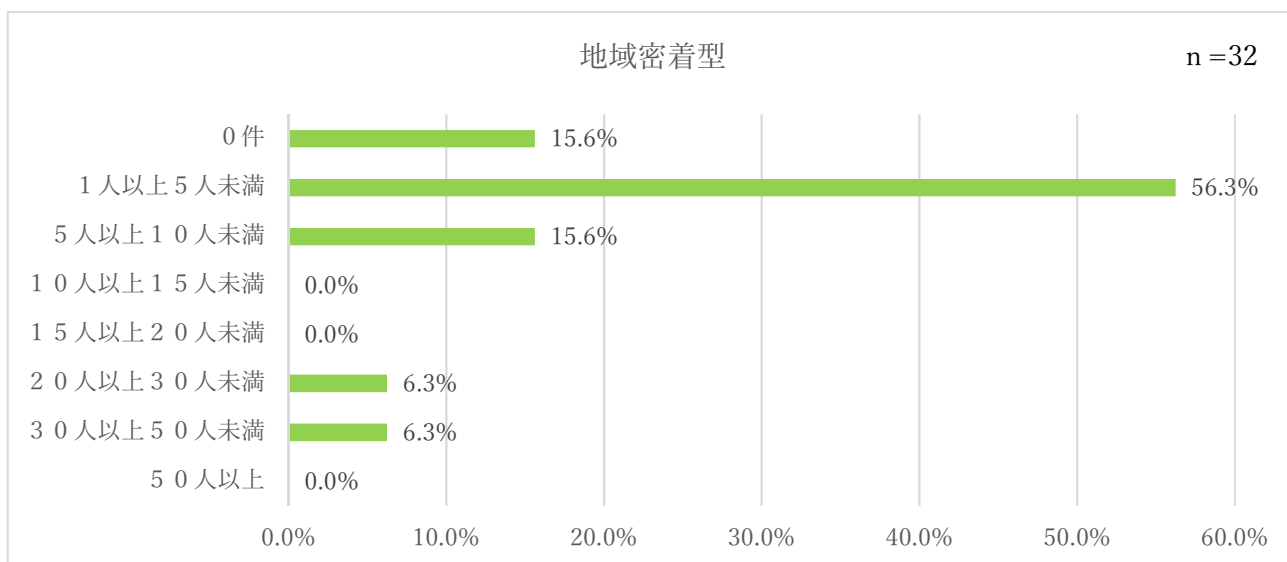
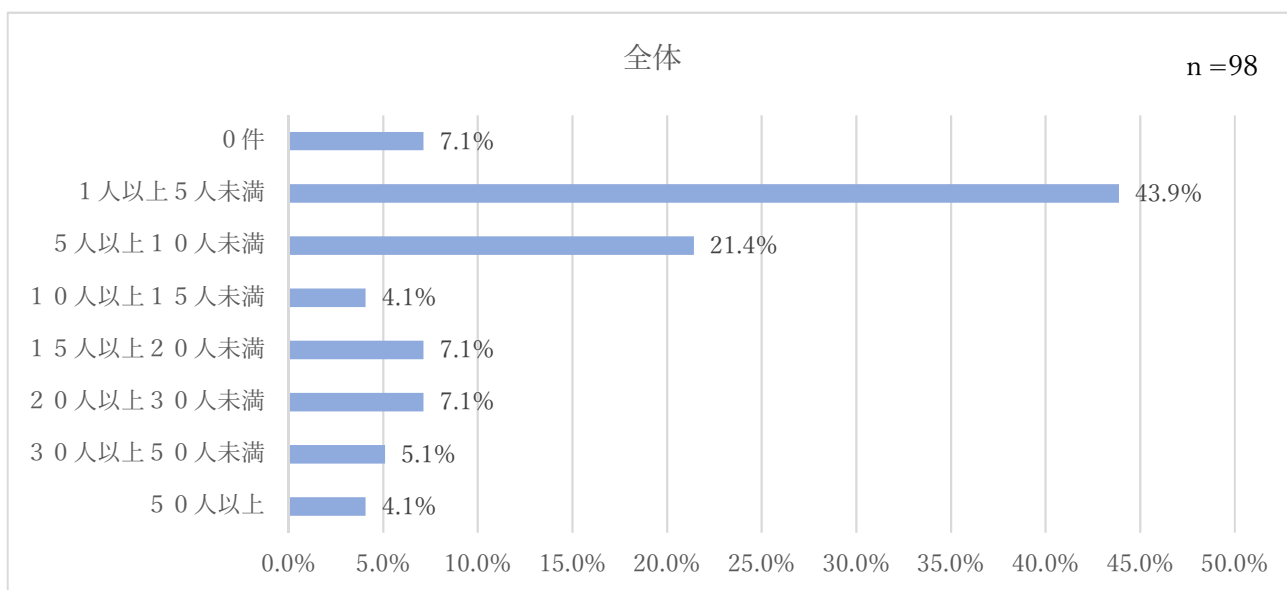


(11)入所の申し込みがされた「その他」の理由について

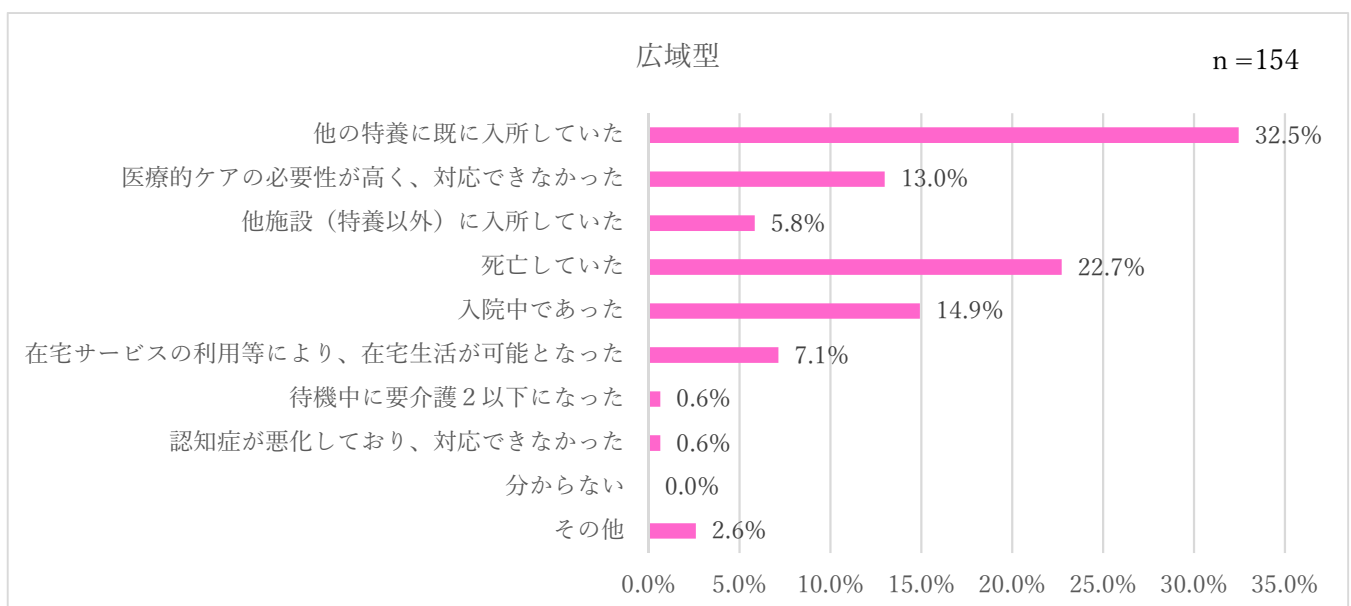
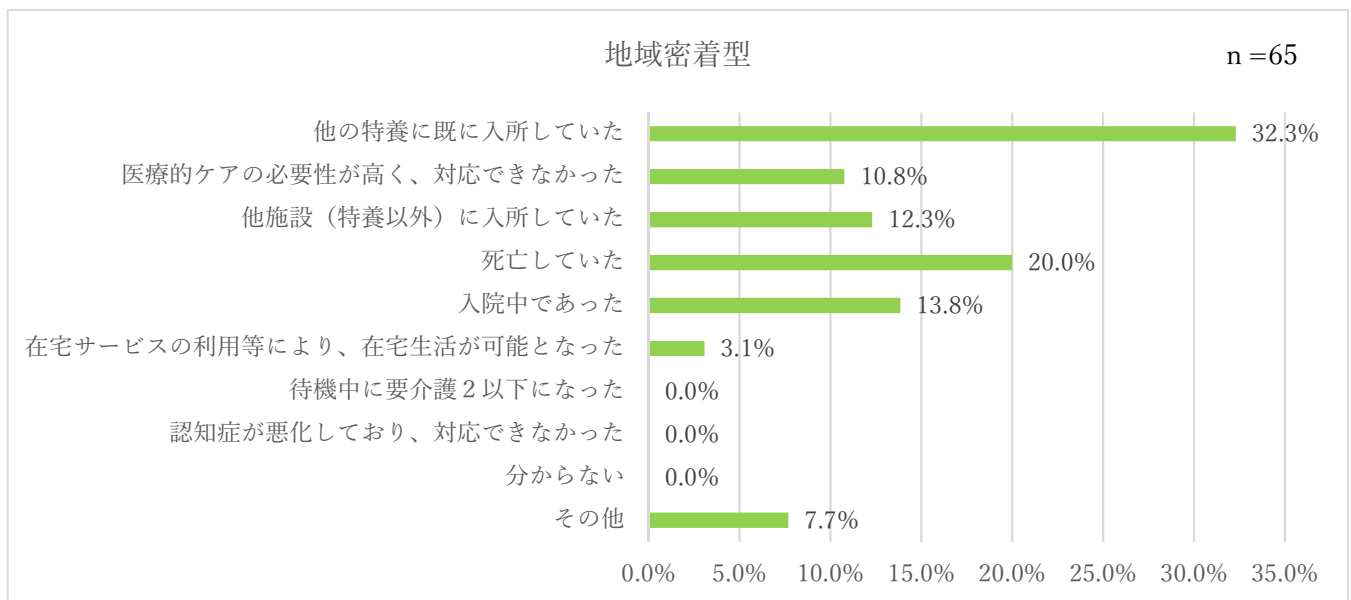
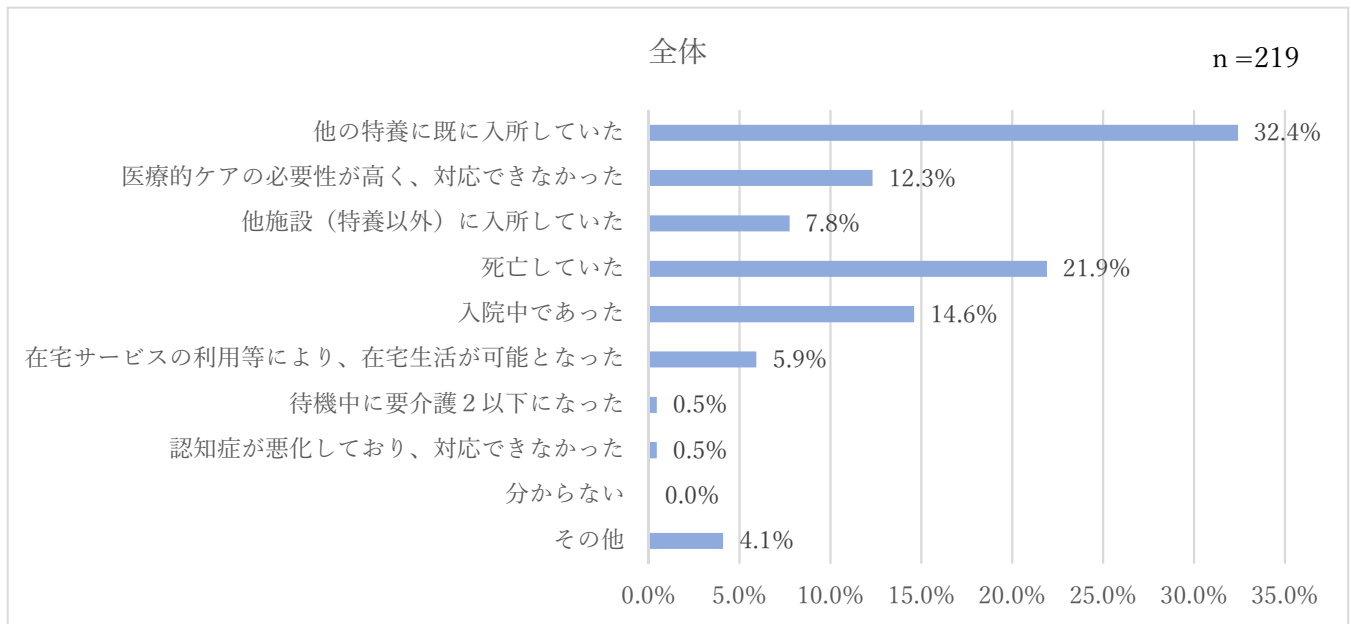
- ・入居待機者が少ないこと
- ・施設がきれい
- ・要介護度が上がったから

(12)待機者の状況

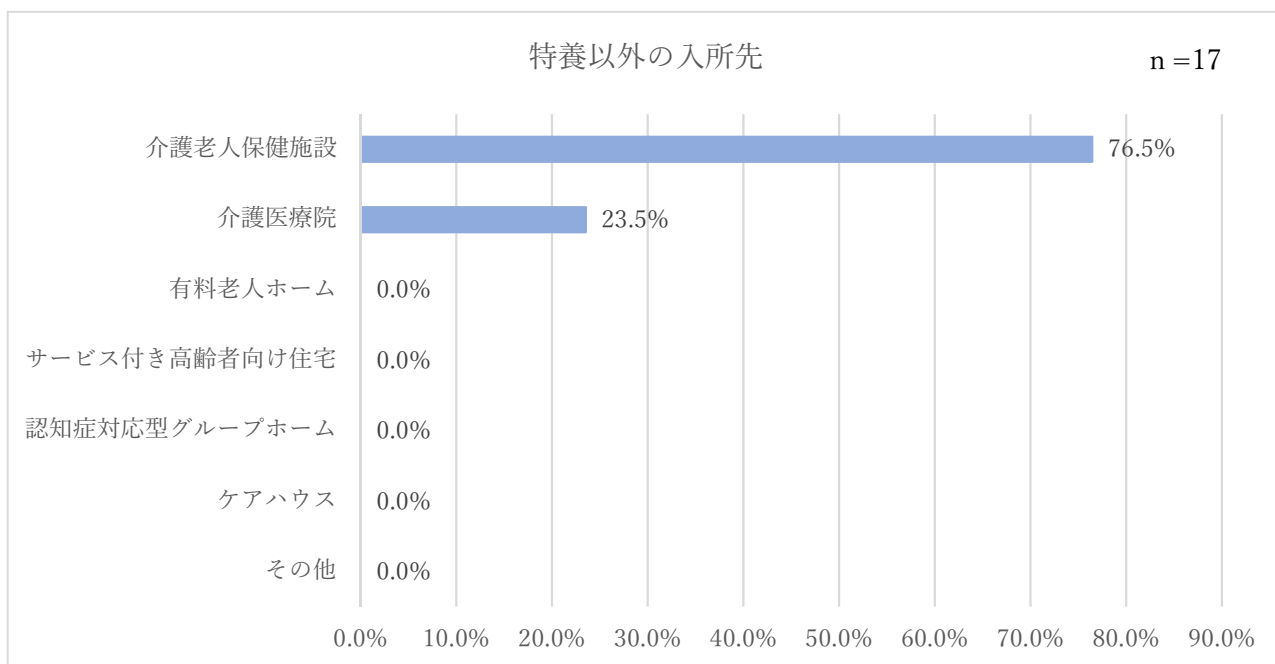
(令和6年1月～12月に、待機者に入所を打診したが、入所につながらなかった件数)



(13)待機者に入所を打診したものの、つながらなかった理由について(複数回答)



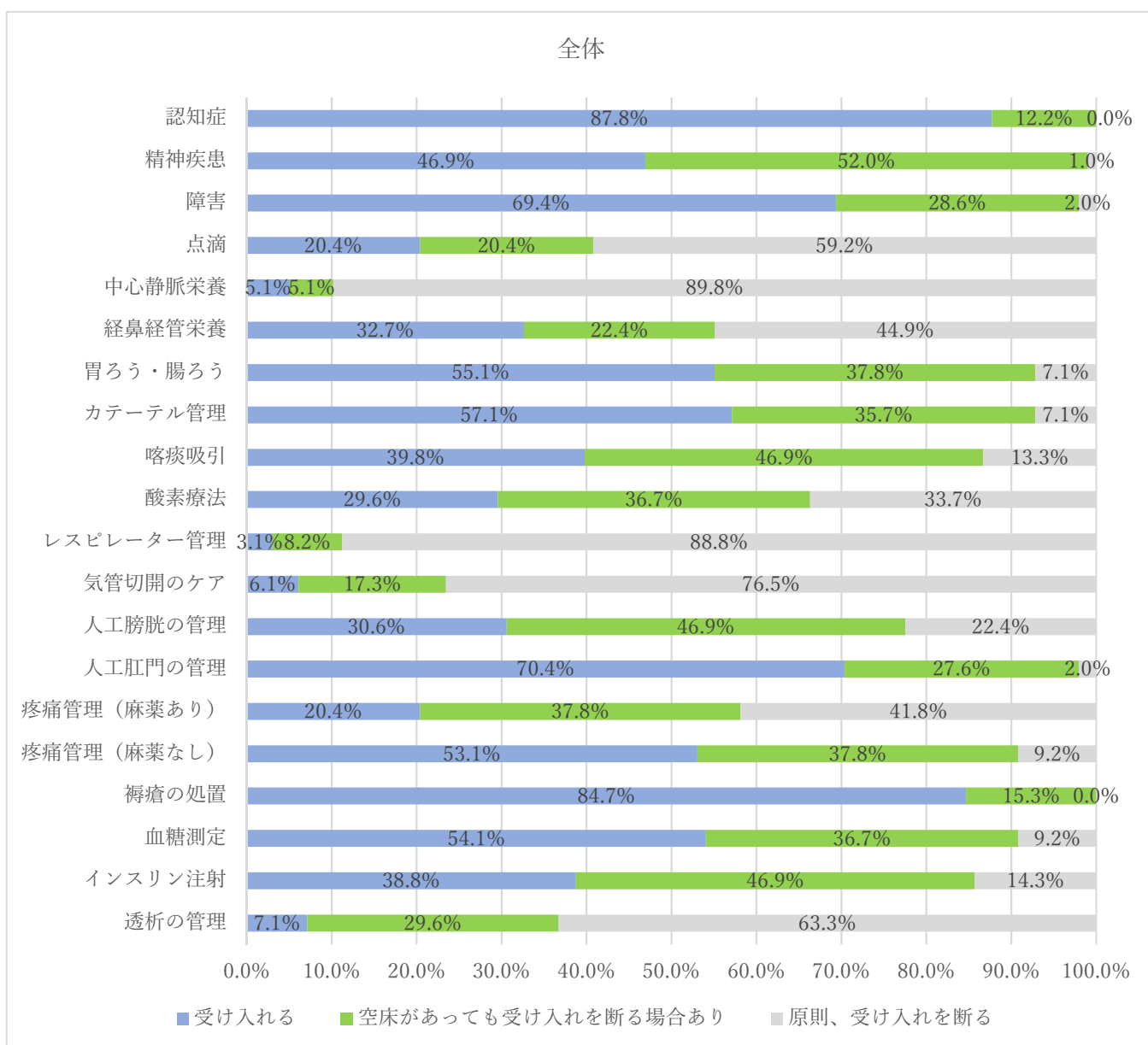
(14)待機者の特別養護老人ホーム以外の入所先



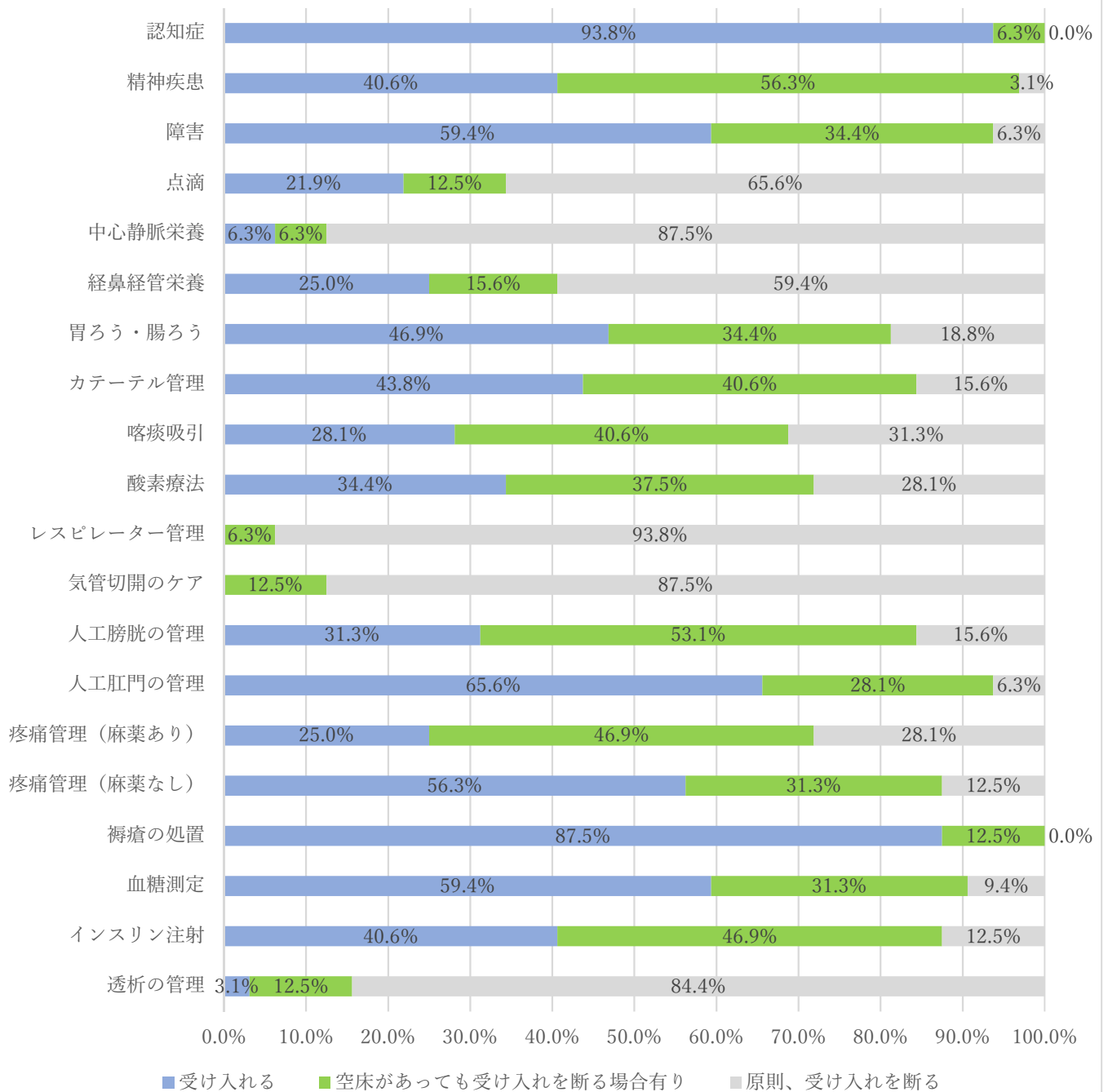
(15)入所につながらなかった、「その他」の理由について

- ・まだ施設に入らなくて良い、環境を変えたくない、現状維持を希望する。
- ・家族は入所希望だが、本人が拒否した。
- ・「他の施設が第一候補であり、その施設を待ちたい」、「大変ではあるがもう少し在宅で看たい」

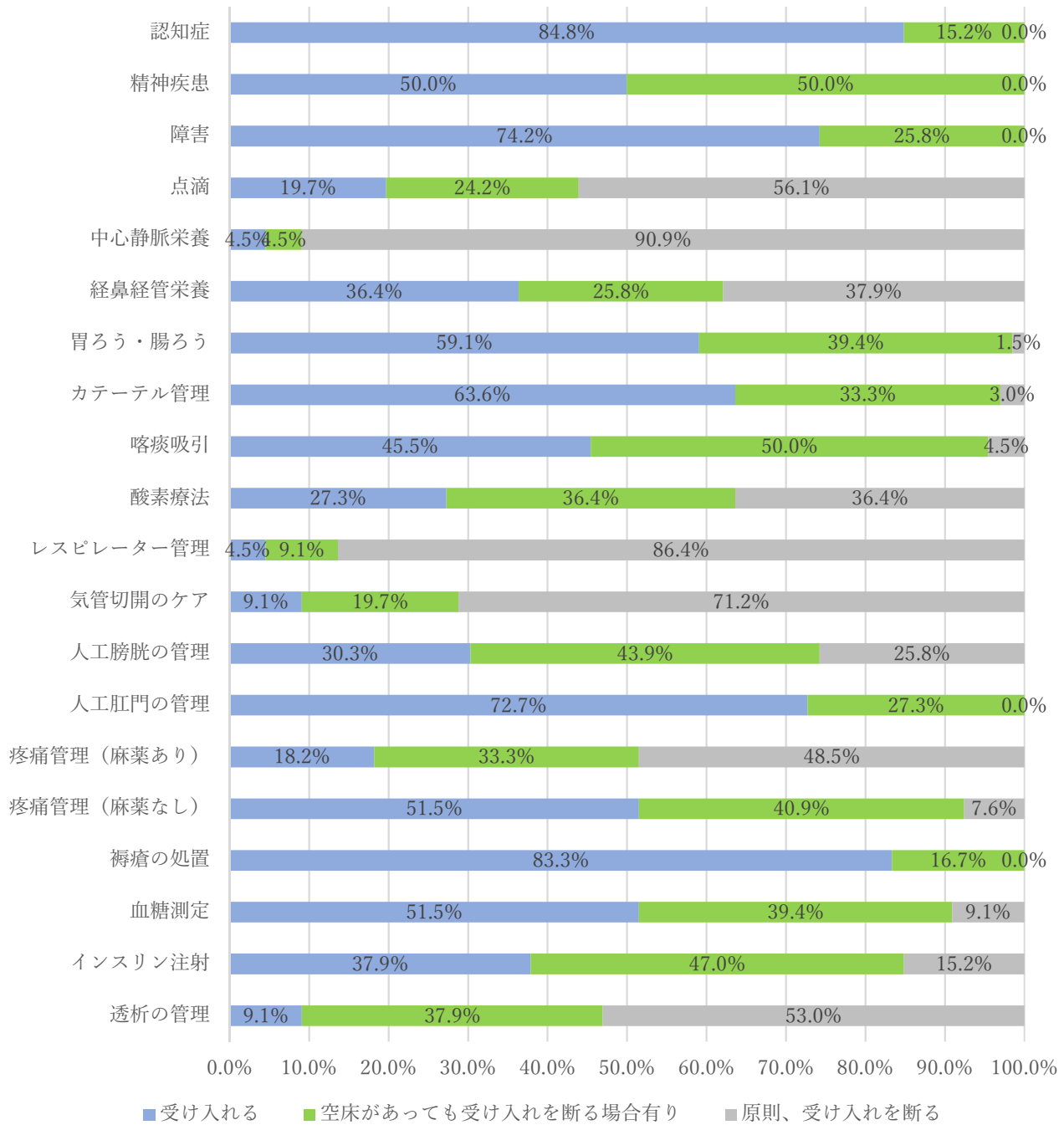
(16)医療的ケアへの対応状況



地域密着型



広域型



令和6年度「特別養護老人ホームの入所状況に関する調査」

法人名	
法人代表者 職・氏名	
回答者 職・氏名	
回答者 電話番号	
回答者 メールアドレス	

特別養護老人ホームの基本情報について記載してください。 ※単位(床)は記載不要。

(1)介護保険事業所番号		数字10桁
(2)事業所名		
(3)居室形態 ※床数を記入してください。	ユニット型個室	
	ユニット型個室的多床室	
	従来型個室	
	多床室	

施設の利用状況について

質問(1) 令和7年1月1日時点の各居室形態ごとの利用床数を教えてください。

※1月1日に同じベッドで入替があり、利用者2人について請求をしている場合でも「1」でカウントしてください。
1月1日に退去し、請求していない場合は「0」としてください。
各居室形態ごとの利用率を調べるためのものです。

※単位(床)は記載不要。

ユニット型個室	
ユニット型個室的多床室	
従来型個室	
多床室	

質問(2) 令和6年(令和6年1月～12月)と1年前(令和5年1月～12月)を比較した利用率について、当てはまるものに「○」を記入してください。

※令和6年中に開設した事業所は、「大幅に上昇した」に「○」を記入し、質問(3)へ移動してください。

大幅に上昇した	
上昇した	
変わらない	
低下した	
大幅に低下した	

質問(3) 質問(2)で「大幅に上昇した」「上昇した」に「○」を入力した事業所に質問です。
利用率が上昇した理由として、もっともあてはまるものに「○」を記入してください。

※令和6年中に開設した事業所は「新規開設施設であった」に「○」を記入してください。

受入体制を強化	
高齢者の増加	
入院者が減少	
職員が確保できた	
新規開設施設であった	
他施設との競争が緩和	
定員数を削減	
その他	

質問(4) 質問(3)で「他施設との競争が緩和」に「○」を記入した事業所に質問です。
競争が緩和し、上昇したと考えられる具体的な要因について、下記の欄に記入してください。

要因

--

質問(5) 質問(3)で「その他」に「○」を記入した事業所に質問です。
「その他」の理由について、下記の欄に記入してください。

理由

--

質問(6) 質問(2)で「大幅に低下した」「低下した」に「○」を入力した事業所に質問です。
利用率が低下した理由で、もっともあてはまるものに「○」を記入してください。

入院者の増加	
他施設との競争が激化	
受入困難ケースの増加	
職員の不足	
定員数を増やした	
高齢者の減少	
その他	

質問(7) 質問(6)で「他施設との競争が激化」に「○」を記入した事業所に質問です。
競争が激化し、低下したと考えられる具体的な要因について、下記の欄に記入してください。

要因

--

質問(8) 質問(6)で「その他」に「○」を記入した事業所に質問です。
「その他」の理由について、下記の欄に記入してください。

理由

--

新規入所の状況

質問(9) 令和6年1月～12月の新規入所者数について、あてはまるものに「○」を記入してください。

5人未満	
5人以上10人未満	
10人以上15人未満	
15人以上20人未満	
20人以上30人未満	
30人以上50人未満	
50人以上	

質問(10) 新規入所者の入所前の居住として、多いものに「○」を記入してください。(複数回答可能。最大3つまで)

自宅	
病院	
介護老人保健施設	
介護医療院	
有料老人ホーム	
認知症高齢者グループホーム	
サービス付き高齢者向け住宅	
ケアハウス	
その他の特養	

質問(11) 入所の申込がされた理由として、多いものに「○」を記入してください。(複数回答可能)

本人の家族の居住地に近い	
本人の住み慣れた場所に近い	
サービスの利用等で法人・施設になじみがあった	
料金が他施設と比較して安価	
本人が利用していた医療機関と連携していた	
地域での知名度・評判が高い	
看取り体制が整っている	
施設へのアクセスが良い	
空床があり、比較的すぐに入所が可能だった	
法人・施設のイベント等で親しみがあつた	
医療的ニーズに対応できる	
分からない	
その他	

質問(12) 質問(11)で「その他」に「○」を記入した事業所に質問です。
「その他」の理由について、下記の欄に記入してください。

理由

--

待機者の状況

質問(13) 令和6年1月～12月に、待機者に入所を打診したが、入所につながらなかった件数に「○」を記入してください。

0件	
1人以上5人未満	
5人以上10人未満	
10人以上15人未満	
15人以上20人未満	
20人以上30人未満	
30人以上50人未満	
50人以上	

質問(14) 入所を打診したものの、つながらなかった理由について、あてはまるものに「○」を記入してください。(複数回答可能。最大3つまで)

他の特養に既に入所していた	
医療的ケアの必要性が高く、対応できなかった	
他施設(特養以外)に入所していた	
死亡していた	
入院中であった	
在宅サービスの利用等により、在宅生活が可能となった	
待機中に要介護2以下になった	
認知症が悪化しており、対応できなかった	
分からない	
その他	

質問(15) 質問(14)で「他施設(特養以外)に入所していた」に「○」を記入した事業所に質問です。
他の施設でもっとも多かったものに「○」を記入してください。

介護老人保健施設	
介護医療院	
有料老人ホーム	
サービス付き高齢者向け住宅	
認知症対応型グループホーム	
ケアハウス	
その他	

質問(16) 質問(14)で「その他」に「○」を記入した事業所に質問です。
「その他」の理由について、下記の欄に記入してください。

理由

--

医療的ケア等への対応状況について

質問(17) 各医療的ケア等に関する受入方針のうち、どれにあてはまるか3つのうち1つを選択し、あてはまるものに「○」を記入してください。

医療的ケア等 項目	受入方針		
	受け入れる	空床があっても 受け入れを断る場合有り	原則、受け入れを断る
認知症			
精神疾患			
障害			
点滴			
中心静脈栄養			
経鼻経管栄養			
胃ろう・腸ろう			
カテーテル管理			
喀痰吸引			
酸素療法			
レスピレータ管理			
気管切開のケア			
人工膀胱の管理			
人工肛門の管理			
疼痛管理(麻薬あり)			
疼痛管理(麻薬なし)			
褥瘡の処置			
血糖測定			
インスリン注射			
透析の管理			

ありがとうございました。設問は以上です。